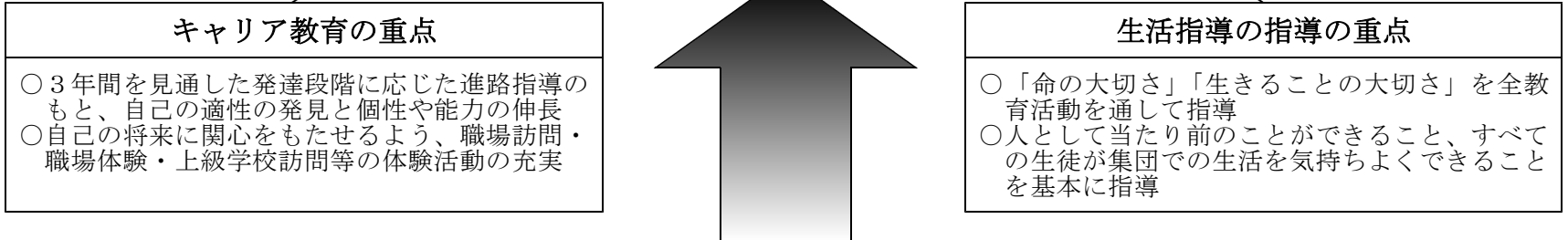
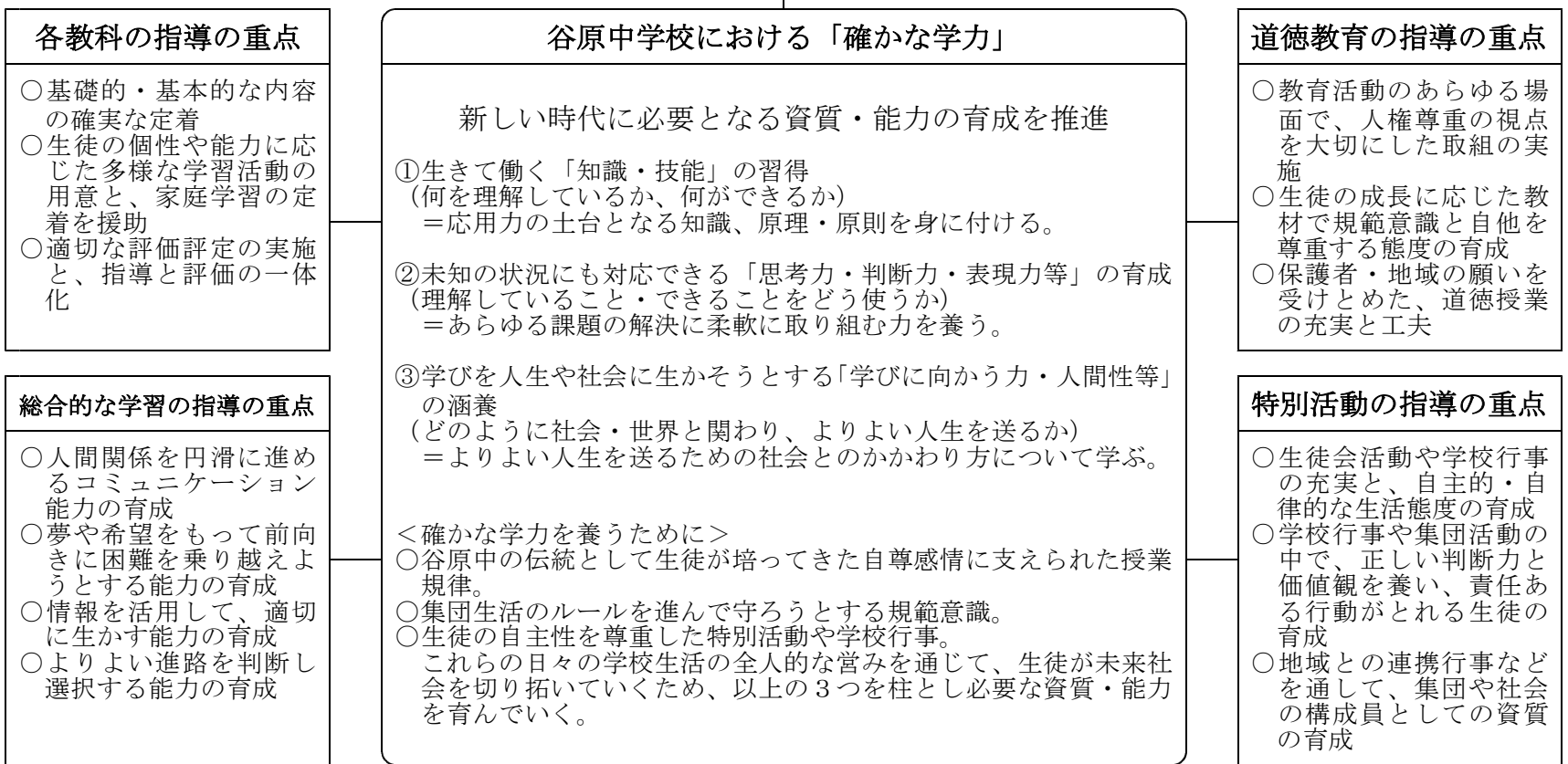
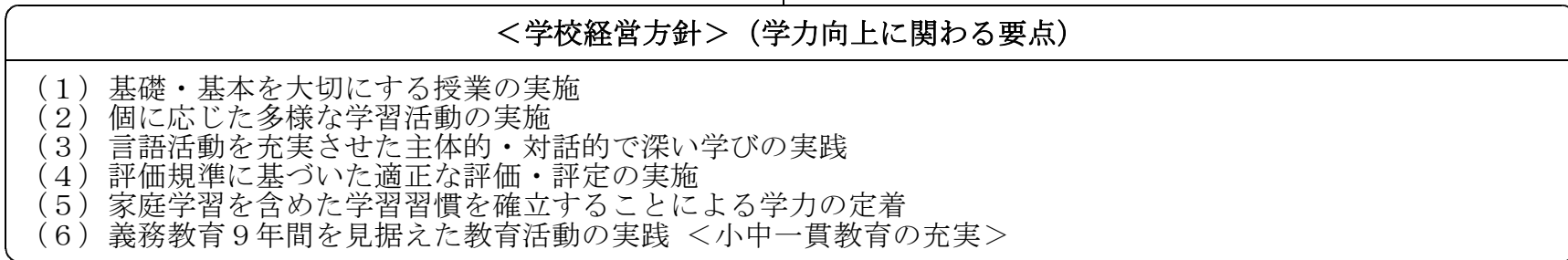
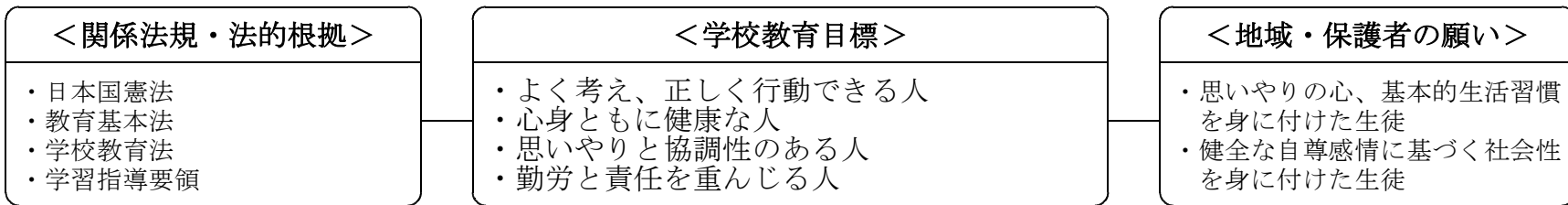


令和2年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○授業時数を確保し授業規律を徹底した学習活動の展開 ○1時間ごとの学習目標を明確にした授業実践 ○少人数、習熟度別授業、個に応じた指導、ICT機器の活用等の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の精選と授業時数の確保 ○朝読書の充実と落ち着いた学習環境の確立 ○長期休業や放課後等を利用した補充学習の充実 ○外部人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の資質向上のための校内研修・研究授業の実施 ○3人組授業相互参観を通じた授業の充実 ○生徒理解に基づいた適切な指導のための定期的な研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価規準・基準の明示と生徒・保護者への説明 ○評価精度の向上および、指導と評価の一体化 ○適正な評価に基づいた授業改善と授業力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観、学校公開の推進 ○外部評価の積極的活用 ○地域行事への参加と伝統文化の学習 ○地域人材の活用 ○学校だよりやHPを活用した情報公開の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の発達段階に応じた9年間を見据えた課題改善プログラムの活用 ○学びの連続性を視野に入れた指導の充実

授業改善策の検証方法	
<ul style="list-style-type: none"> ○管理職による授業観察、教員相互での授業参観による検証 ○研究授業等の校内研究での検証 ○学力調査、定期考査等の結果による検証 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品や提出物の評価による検証 ○学校評価における教員の自己評価の検証 ○保護者および生徒アンケートによる検証